

1 「年次報告(令和3年度)」の概要

(1) 福祉サービス第三者評価実績について

- ・ 東京都福祉サービス第三者評価は、平成15年度に本格実施してから令和3年度で19年目となる。
- ・ 令和3年度の評価実施件数は3,694件で、前年度比86件増となり、実施率は前年度比0.2%増加した。
- ・ 実施件数が大きく増加したのは子ども家庭の分野となる。これは認可保育所数の増加に伴うものである。次いで増加したのは施設系高齢分野となり、これは令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、受審しなくても特別養護老人ホーム経営支援補助金を減額しない取扱いにより、令和2年度においては受審を見送った事業所が令和3年度に受審したことによる増加が考えられる。
- ・ 一方で居宅系障害分野については、受審件数、実施率ともに減少している。理由としては、令和2年度が平成30年度から3年に1回の受審が補助要件化された障害短期入所や共同生活援助の最終年度だったため、駆け込み受審が多く、令和3年度は3年に1回の初年度という受審サイクルが影響していると考えられる。

	令和3年度 評価実施件数	令和3年度 実施率 ※1	令和2年度 評価実施件数	令和2年度 実施率 ※2	前年度比	過去1回以上 評価実施実績 のある事業所数 ※3
評価実施件数合計	3,694	(13.7%)	3,608	(13.5%)	86	10,592
施設系	2,172	(32.5%)	1,924	(29.4%)	248	5,310
高齢	426	(46.3%)	356	(40.5%)	70	679
障害	115	(72.8%)	100	(63.3%)	15	201
子ども家庭	1,603	(28.8%)	1,438	(26.3%)	165	4,391
婦人保護・保護	28	(77.8%)	30	(83.3%)	-2	39
居宅系	1,522	(7.5%)	1,684	(8.4%)	-162	5,282
高齢	812	(5.9%)	759	(5.5%)	53	2,669
障害	710	(11.0%)	925	(14.9%)	-215	2,613

※1

「令和3年度実施率」は、令和3年4月1日現在の評価対象事業所数に対する、令和2年度の評価実施件数の割合である。

※2

「令和2年度実施率」は、平成2年4月1日現在の評価対象事業所数に対する、令和元年度の評価実施件数の割合である。

※3

「過去1回以上評価実施実績のある事業所数」の合計数等は、令和3年度の評価対象サービス以外の事業所は含んでいない。

主な増減一覧

○施設系 子ども家庭分野サービスの増減

サービス種別	令和3年度 評価実施件数	令和3年度 実施率 ※1	令和2年度 評価実施件数	令和2年度 実施率 ※2	前年比
保育所(認可保育所)	1,235	(36.1%)	1,071	(32.7%)	164
保育所(公立)	243	(30.3%)	160	(19.5%)	83
保育所(私立)	992	(37.8%)	911	(37.2%)	81
認定こども園	39	(24.1%)	57	(36.8%)	-18
認証保育所(A型・B型)	180	(36.0%)	178	(33.7%)	2
認可外保育施設(ベビーホテル等)	58	(4.3%)	52	(3.7%)	6
母子生活支援施設	18	(54.5%)	18	(56.3%)	0
児童養護施設	56	(91.8%)	46	(76.7%)	10
児童自立支援施設	2	(100.0%)	2	(100.0%)	0
児童自立生活援助事業【自立援助ホーム】	6	(31.6%)	8	(44.4%)	-2
乳児院	9	(81.8%)	6	(54.5%)	3

○居宅系 高齢分野サービスの増減

サービス種別	令和3年度 評価実施件数	令和3年度 実施率 ※1	令和2年度 評価実施件数	令和2年度 実施率 ※2	前年比
訪問介護	29	(1.0%)	18	(0.6%)	11
訪問入浴介護	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0
訪問看護	1	(0.1%)	0	(0.0%)	1
特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム・ケアハウス)	3	(0.4%)	7	(1.0%)	-4
福祉用具貸与	3	(0.6%)	2	(0.4%)	1
居宅介護支援	31	(1.0%)	26	(0.8%)	5
通所介護【デイサービス】	83	(5.4%)	80	(5.2%)	3
地域密着型通所介護	33	(1.9%)	35	(2.0%)	-2
認知症対応型通所介護	35	(9.5%)	21	(5.5%)	14
短期入所生活介護【ショートステイ】	53	(9.3%)	50	(8.7%)	3
小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	34	(15.2%)	36	(16.6%)	-2
認知症対応型共同生活介護【認知症高齢者グループホーム】(介護予防含む)	482	(71.6%)	458	(69.3%)	24
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	12	(14.6%)	16	(18.8%)	-4
看護小規模多機能型居宅介護	13	(25.5%)	10	(23.8%)	3

※1

「令和3年度実施率」は、令和3年4月1日現在の評価対象事業所数に対する、令和3年度の評価実施件数の割合である。

※2

「令和2年度実施率」は、令和2年4月1日現在の評価対象事業所数に対する、令和2年度の評価実施件数の割合である。

○居宅系 障害分野サービスの増減

サービス種別	令和3年度 評価実施件数	令和3年度 実施率 ※1	令和2年度 評価実施件数	令和2年度 実施率 ※2	前年比
居宅介護	2	(0.1%)	3	(0.1%)	-1
短期入所	85	(26.7%)	106	(34.6%)	-21
生活介護	77	(27.6%)	98	(36.0%)	-21
生活介護(主たる利用者が重症心身障害者)	5	(27.8%)	8	(57.1%)	-3
自立訓練(機能訓練)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	-1
自立訓練(生活訓練)	5	(14.7%)	8	(29.6%)	-3
宿泊型自立訓練	6	(85.7%)	4	(66.7%)	2
就労移行支援	19	(9.5%)	18	(9.0%)	1
就労継続支援A型	12	(20.0%)	13	(20.6%)	-1
就労継続支援B型	161	(28.0%)	180	(32.5%)	-19
多機能型事業所	108	(29.6%)	133	(39.1%)	-25
共同生活援助【グループホーム】	173	(20.6%)	319	(41.5%)	-146
児童発達支援センター	9	(30.0%)	6	(24.0%)	3
児童発達支援センター(主たる利用者が重症心身障害児または肢体不自由児)	0	(0.0%)	2	(66.7%)	-2
医療型児童発達支援センター(主たる利用者が重症心身障害児または肢体不自由児)	5	(100.0%)	5	(100.0%)	0
児童発達支援事業	10	(6.2%)	6	(4.1%)	4
児童発達支援事業(主たる利用者が重症心身障害児または肢体不自由児)	1	(5.0%)	2	(11.8%)	-1
放課後等デイサービス	17	(2.8%)	7	(1.2%)	10
放課後等デイサービス(主たる利用者が重症心身障害児または肢体不自由児)	1	(3.6%)	0	(0.0%)	1
障害児多機能型事業所	13	(4.6%)	6	(2.2%)	7
障害児多機能型事業所(主たる利用者が重症心身障害児または肢体不自由児)	1	(2.6%)	0	(0.0%)	1

令和3年度評価実施件数(上位5件)

サービス種別 (評価実施件数が多い順)	令和3年度 評価実施件数	令和3年度 実施率 ※1	令和2年度 評価実施件数	令和2年度 実施率 ※2
1 保育所(認可保育所)	1,235	(36.1%)	1,071	(32.7%)
2 認知症対応型共同生活介護【認知症高齢者グループホーム】(介護予防含む)	482	(71.6%)	458	(69.3%)
3 指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】	382	(67.4%)	311	(58.7%)
4 認証保育所(A型・B型)	180	(36.0%)	178	(33.7%)
5 共同生活援助(グループホーム)	173	(20.6%)	319	(41.5%)

※1

「令和3年度実施率」は、令和3年4月1日現在の評価対象事業所数に対する、令和3年度の評価実施件数の割合である。

※2

「令和2年度実施率」は、令和2年4月1日現在の評価対象事業所数に対する、令和2年度の評価実施件数の割合である。

(2) 評価者養成講習等実績について

- 令和3年度評価者養成講習実績数は126名で、年度末累計は3,484名である（その後の抹消者を含む。抹消者を除いた評価者数は1,482名）。
- 令和3年度フォローアップ研修修了者数は、共通コースが1,359名、専門コースが357名である。
- 令和3年度社会的養護関係施設評価者養成研修修了者数は21名、継続研修は14名である。

(3) 評価機関認証実績について

- 令和3年度末における評価機関数は123機関である。
- 令和3年度末における社会的養護関係施設第三者評価機関数は25機関である。

(4) その他

評価を実施した事業者からのアンケートでは92.3%が満足と回答（内訳は、大変満足27.1% 満足51.0% どちらかといえば満足14.2%。令和2年度のアンケートでは、93.6%が満足と回答）。